



福島県農林水産業振興計画に基づき令和5年度に実現すること

参考3

令和6年6月11日
農林水産部

令和5年度実績

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

生産基盤の復旧や被災農林漁業者の支援、復興の加速化、風評の払拭

<令和5年度の目標値>

<実績値>

- 【高付加価値産地の拠点施設の整備 1か所】
- 【広葉樹林再生面積 250ha】
- 【ヒラメの種苗放流 130万尾】

- 【1か所】※R5.8着工、R7.3竣工予定）
乳肉複合型種畜供給牧場
- 【231ha】
- 【約104万尾】 7/10～8/8に放流

多様な担い手の確保・育成

農林水産業の担い手の確保・育成、経営の安定・強化

- 【新規就農者数 260名】
- 【新規林業就業者数 140名】
- 【沿岸漁業新規就業者数 10名】

- 【367名】
農業経営・就農支援センター開所、就農相談930件
- 【118名】
林業アカデミーふくしま研修生14名就業
- 【26名】
就業者19名の現場研修を支援

生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

農地集積・集約化の推進、農林水産業の生産基盤の整備、戦略的な品種・技術の開発

- 【ほ場整備面積 400ha】
- 【試験研究の成果 35件公表】

- 【543ha（着工面積）】
- 【49件】
農業:24件・林業:12件・水産:13件

食料安全保障の強化（海外に依存している食料や生産資材への対応）

本県のポテンシャルを活かした供給量拡大・収益力向上による経営の安定化

- 【麦・大豆・そばの1ha以上の団地作付面積 3,905ha】
- 【飼料作付面積（畑地） 6,298ha】

- 【4,121ha】（麦：449ha、大豆：1,032ha、そば：2,640ha）16か所のモデル地区設定
- 【6,203ha】1か所の子実用とうもろこし生産現地実証ほ場を設置

需要を創出する流通・販売戦略の実践

農林水産物の安全と信頼の確保、戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓

- 【第三者認証GAP等を取得している経営体数 1,030経営体】
- 【新たに県産花きの利用を積極的に行う施設数 20施設】
- 【県産水産物の常設販売コーナー 15か所】

- 【774経営体】
- 【47施設】
県産花きの展示を47施設（81回）で実施
- 【16か所】
首都圏等量販店で常設販売コーナーを設置

戦略的な生産活動の展開

農林水産物の生産振興、産地の生産力・競争力の強化

- 【福、笑い作付面積・生産量 約77ha・380t】
- 【ゆうやけベリー作付面積 3ha】
- 【園芸生産拠点の育成数 4地区】
- 【AI肉質評価システムの活用 1,600頭】

- 【約77ha・約370t】
14研究会、129名が生産
- 【3ha】
75戸、栽培マニュアル改訂
- 【5地区（事業計画策定）】
- 【1,731頭】

活力と魅力ある農山漁村の創生

農林水産業・農山漁村の多面的機能の維持・発揮、快適な農山漁村づくり、地域資源を活用した取組促進

- 【多面的機能支払事業による農地の保全部管理 67,541ha】
- 【地域ぐるみでの総合的な鳥獣被害対策 14か所】
- 【治山事業 52か所】

- 【68,359ha】
取組推進に向けたキャラバン実施
- 【14か所】
14か所モデル集落を設置
- 【49か所（着工か所）】